



今年も26名の新わかばっこを迎えました。無事に慣らし保育を終え涙顔から笑顔も見られ始めると、みんなが楽しみにしていたゴールデンウィークがやってきました。しかも最大10連休！また始めに戻ってしまうのでは？の保育士の心配をよそに連休明けは、どの子も担任の顔を覚えていて安心して身をゆだねていました。まだまだ舞岡の自然は心地良い季節です。どのクラスもたくさん散歩を楽しみたいと思っています。

わかば保育園園長 伊佐治由紀



「およげおよげーこいのぼり」5歳児



「春爛漫」3歳児

～エピソード～

4月、10ヶ月になったA子ちゃんが入園しました。お母さんが大好きで、お母さんのおんぶ紐から降りるだけで大騒ぎでした。慣らし保育の間は、抱っこしていると泣き止むものの、食事の時間は保育士にしがみつき「食べようか」と誘うだけで泣き出し、スプーンを近づけると口をへの字にして、体を反らして嫌がりました。数日たって、周りの様子に少し慣れてきたころ、自分から大人の膝からゆっくりと降りて、おもちゃに手を伸ばし遊び始めました。私が「その調子！」と様子を見てみると、何度も何度も振り返っては、大人がそばにいることを確認。そのたびに、A子ちゃんに「ここにいるよ！たのしいね！」の気持ちを送りました。それから、一口ご飯を食べられたり、笑顔を見せてくれたりと、担任みんなで喜びました。3週間たった今は、ペープサートを特等席で楽しんだり、泣いている子がいると近づいて背中をトントン。A子ちゃんの不安な気持ちに寄り添いながら、楽しいことを発見した喜びを共有できた4月でした。

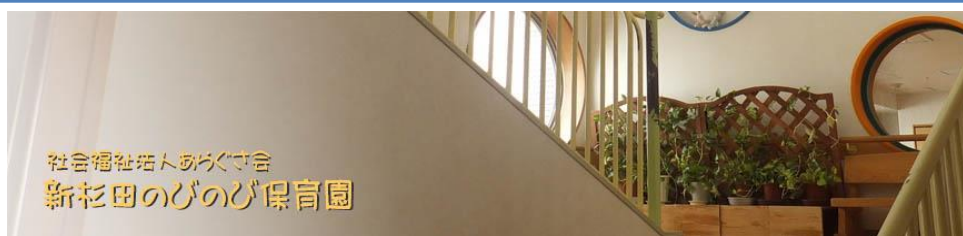
(0歳児担任 高橋明日香保士)



「はじめまして！こんにちは」0・1歳児



「まねっこ まねっこ!!」1歳児



社会福祉法人あらくさ会
新杉田のびのび保育園

まだ5月というのに真夏のような強い日差しで、今年も猛暑の予感がいたします。4月に入園した新しいお友だちや保護者の方も園の生活にすっかり慣れ、毎日の園生活を楽しんでいるように見えます。進級した子どもたちも大きくなったことに喜びと自信を感じながら、新しい事に挑んでいます。子どもたちの「やりたい思い」に添って園生活が充実するよう、職員一同力を注いでいきたいと思ひます。 新杉田のびのび保育園園長 山中あけみ



マイブーム



給食試食会が盛大に行われました

～エピソード～「感じることを保障する保育～オクラの栽培を通して～」

テラス園庭には自由に遊べる雑草が植わっているプランターがあり、好奇心旺盛な2歳児(らっこ組)の子どもたちは葉っぱや花を摘んだり虫探しをしたりして小さな自然と関わっています。

この子ども達と野菜を育ててみたいなと思ひました。子どもたちがお世話をし、大きくなっていく茎や葉っぱや花を見てどんな反応をするのか、見てみたいと思ひました。プランターで土の準備をしていると、「なにしているの？」とシャベルを持って傍に来ます。泥んこ遊びをしているとでも思っただけでしょうか？私が土を入れている横からせせと土を出しています。



オクラの種をまきました



はやく目が出てこないかな

やっと土の準備が出来て“オクラ”の種を子どもたちに渡しました。オクラの種は大きめでしっかりと固い種です。「なにこれ？だんごむし？」とゆうひくん。“ぶたのたね”(絵本のタイトル)みたいにだんごむしになったら面白いかも、と思ひながら皆で種を蒔き上からそっと土を掛けました。芽が育つまでは手の届かない処で養生です。次の日も種まきを覚えていた子どもたちがお水をあげてくれました。ちゃんと芽が出るでしょうか？子どもたちと一緒にオクラの成長を見守り、子どもたちの言葉や表情、気持ち等の発信を楽しみにしたいです。小さな小さな自然ですが、「センス・オブ・ワンダー」の世界を少しでも感じてくれれば良いなあと思ひます。(2歳児担任 高松千恵子保育士)



春のおたのしみ会

はじまりは、笹下保育園の運営が横浜市立からあらくさ会へと移管され、保護者に保育の様子を見ていただくという目的でした。移管前は運動会が春にあつて、それを秋にしたので、春に何もなくなってしまうのは寂しいということもありました。



きりん組



らいおん組けん玉・プラネタリウム・
びよんびよんがえるをつくりました

今年、3・4・5才児が保護者の皆さんの保育参観と給食試食会、そして、1・2才児がクラス懇談会と給食試食会です。

一日の生活の様子も見ていただこうと、当番活動や食事・歯磨きなど、子どもたちには普段の生活をしてもらいますが、おうちの人が見ているので、恥ずかしかったり、張り切りすぎたり・・・でもうれしい一日でした。



きりん組
試食会パパも食べてみて



くま組試食会

給食担当もクラスを回って、レシピの紹介などもします。鮭のあかね焼、五目浸し、アオサの味噌汁という子どもにとっては渋いメニューですが、みんなが大好きなメニューでした。

笹下保育園 園長 五十嵐 樹

